

(第三種郵便物認可)

4年ぶりの全国大会へ

都吹奏コンで金賞

羽村第一中吹奏楽部

羽村市立羽村第一中学校(嘉陽義明校長)の吹奏楽部(平賀明穂、宮本優美、吉田佳代顧問、部員数52人)はこのほど、杉並区の普門館で開催された東京都吹奏楽コンクールで見事金賞を受賞し、30日に同館で行われる全国大会(都代表は2校)に、4年ぶり5回目の出場を決めた。



全国大会に向けて練習を重ねる部員

2年連続で銀賞だった同部だが、今年は浜田拓己部長(3年)を中心にまとまりのある演奏を披露して金賞に輝いた。多くの部員が小学校で金管や管弦を経験する一方、中学校入学後に始めて楽器に触れた部員も。中には2年生から入部し、めきめきと上達した生徒もいるなど個性豊かなメンバーが揃う。

宮本顧問は部の特徴を「音色の明るさ」と話す。小柄な部員が多いが、想像以上の音量も魅力だ。この一年で豊富な音量に表現力も付いてきたという。全国大会では沖繩民謡をモチーフにした課題曲「うちなーのてい」と、自由曲はオーケストラをアレンジした「シンフォニー・ポエム」(ハチャトゥリアン作曲)を演奏する。自由曲は当初、難易度の高い曲を想定したが、外部指導員の玉寄勝治さん(トロンボーン奏者)の薦めもあり、「自分たちで深められる曲の方が良い」と等身大で演じられる同曲を選んだ。

「本番では明るくダイナミックな演奏を心掛けたい。生徒には吹奏楽を通じて、色々な音楽を知りながら視野を広げてほしい」と、宮本顧問は話している。今年、部長に指名されてからは「練習を欠席しない」と自らに課してきた浜田部長。自らもユーフォニウムを担当しながら、部員のまとめ役をこなす。都大会金賞に「厳しい練習の中で受賞できたことは嬉しい」と喜ぶ。

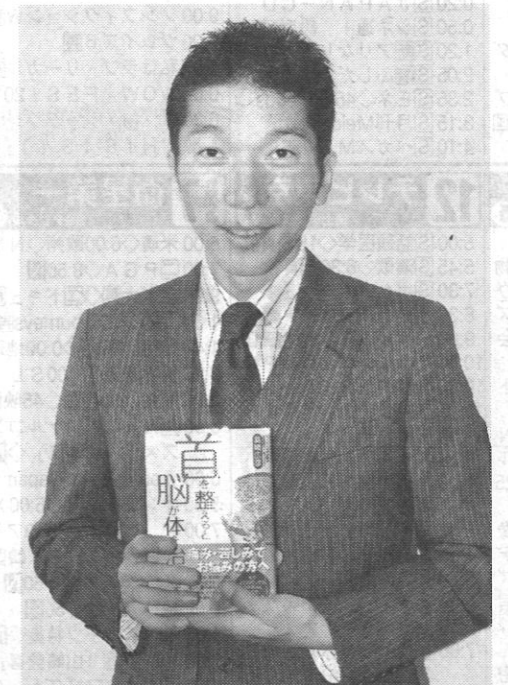
全国大会は演奏順が後半で、前後には強豪校が揃う。「演奏曲を自分たちなりに掘り進めた。全員で良い演奏をしたい」と、浜田部長は力強い言葉で決意を示した。

誰でも体を治す力がある

予防や治療法の著書出版

青梅の島崎さん

青梅市今寺の治療院「オフィシマザキ」の院長で、上部頸椎カイロプラクターの島崎広彦さん(42)はこのほど、『首を整えると脳が体を治します』(アチーブメント出版、四六判、212頁、1333円)を8千部出版した。同市小曾木の兼業農家に生まれ育った島崎さん。幼少のころ、農作業に従事する両親への肩たたきが日課で、「楽になった」と喜ばれた思い出がきっかけとなり、治療師になることを志したという。高校卒業後に、日本指圧専門学校へ入学。日本上部頸椎カイロプラクティクススクールへも通い、89年に「あん摩マッサージ指圧」の国家資格を取得した。その後修行を経て、実家の敷地内に約10坪の治療院を開き、カイロの本場である米国でも修練を積んだ。26歳で「オフィシマザキ」を開業。今では、全国各地から多くの患者が訪れる。同書では「誰でも自分の体の中に治す力がある」をテーマに、痛



「年だから痛いというのは間違い」と話す島崎さん

みのメカニズムと人体の持つ可能性、肩こりや膝、腰痛の辛さの解決法、家庭でできる予防法等を紹介。また、20数年の実績から得た効果的な治療法や考え方、業界にかけられる想いもつづられている。執筆に約1年2か月

を費やしたという島崎さんは「取り組みを変えれば、変えられる未来がある。多くの人に体が必要としている治

療を知ってほしい。長年、痛みを苦しんでいた方に読んでほしい。希望を持ってもらえれば」と話していた。同書は、ブックスタ

魂の一行詩、堂々展示

角川春樹氏と一行詩連衆作品展

青梅の澤乃井ギャラリーで



ギャラリー内に展示された作品の一部

角川春樹主宰の魂の一行詩「河」の奥多摩支部(向原常美支部長)らによる吟行句展が13日から青梅市沢乃井の澤乃井ガーデンギャラリーで始まった。同展には同支部員らの一行詩のほか、主宰の角川氏も特別出句している。作品は一般的に俳句と言われるものを、角川氏が「魂の一行詩」と命名したもの。17文字で書かれた短い詩と捉え、同氏が責任編集した月刊誌「河」を中心に、全国には支部が広がっている。奥多摩支部はこのほど正式に発足し、奥多

摩町在住の水墨画家・向原さんを中心に毎月例会を開いている。支部として初展示となった同展には、今年の5月と9月に御岳渓谷や御岳山で行われた、23人による作品77句が展示されている。

各作品は、向原さんによる筆文字で一つひとつ丁寧に描かれ、文字が持つ独特の力強さや表現が堪能できる展示となっている。入場無料。31日(日)まで。午前10時〜午後4時30分。25日(月)休館。

個展では二科展出品作を始め、色彩豊かなイラスト約10点を展示する。展示は午前10時〜午後6時(月曜日休館)。会場は青梅線鳩ノ巣駅から徒歩1分。問い合わせは同ギャラリー(0428・852158)へ。

最年少の二科会会友に

奥多摩でイラスト展

青梅 関琴美さん

9月の二科展で最年少の二科会会友に選ばれた青梅市在住のイラストレーター、関琴美さん(32)の個展が11月2日(火)から14日



二科展の出品作など10点を展示

(日)まで、奥多摩町棚沢のギャラリー喫茶「山鳩」で開かれる。20歳の時から、パソコンを使ったグラフィック画を手がけている

勝沼地区の在住者が作品を出展する「かつぬま文化祭」(同実行委員会、勝沼自治会連合会主催)が30日と31日、青梅信用金庫・本店ギャラリー(同市勝沼)で開催される。当日は子どもから高齢者までが、書画や彫刻など150点を展示

都指定「小机邸」公開

26日から 作家展も同時開催

あるき野

あきる野市三内にある東京都指定有形文化財(建造物)の「小机邸」が26日〜31日と、11月3日〜7日まで公開され、陶芸家・新福秀子さん(元あきる野市民)と画家・森藤山風さん(同市在住)の作品展も開催される。1875(明治8)年建築とされる小机邸は、文明開化の銀座煉瓦街の洋風建築の刺激を受け、土蔵造りの伝統的な技法の中に和洋折衷様式を取り入れた秀逸な一例として1987年、個人所有として唯一の東京都有形文化財(建造物)に指定された。木造2階建ての土蔵造り、波型亜鉛引鉄板葺屋根で、建築面積は89.2平方メートル。建物南側にはローマン・ドリアン式円柱をつけた列柱廊と両開窓、2階にはバルコニーがある。作品展は31日まで1階で新福さん、2階で森藤さんの作品を、11月3日〜7日までは2階で森藤さんの作品を分



階で森藤さんの作品を分

釜金・塗装 確かな技術と設備 <http://www.5ocn.ne.jp/akiauto/> ☎042-550-0388

関東運輸局認証工場

有限会社 アキオートサービス

〒197-0822 東京都あきる野市小川東1-24-4